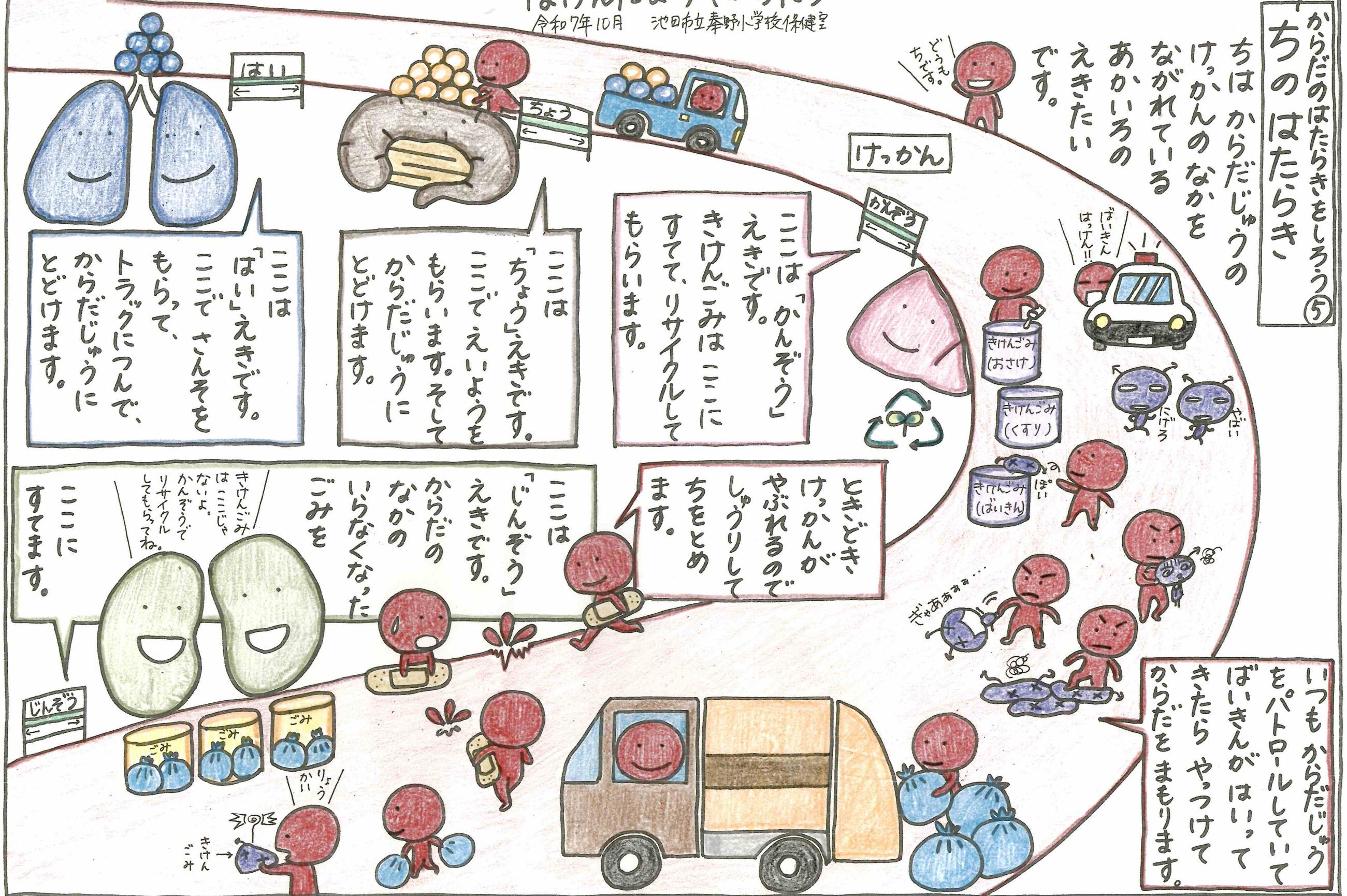


## ほけんだより（からだ） -

令和7年10月 池田市立奉野小学校保健室



「じゃあ、ひらがなで書くと、や、キレイに書くのがいいから、どうすればいい？」と、きかれてうそでうそを語る。

# ほけんだより(ニコロ)

令和7年10月 池田市立奉野小学校保健室

どうかめせんせいの二下えは いつも おなじです。とにかく ます はなれること、おなじ きづけ

リレーの  
れんしゃうちゅう。

し、はいはたからもの⑤  
わるぐちをいたらスカッとした?

スかとすのは、一しきだけ  
わるぐちを「う」と「うなります。  
そで「う」、「うなります。」

“あのひとは  
わざぐちをいうひと  
だとおもわれて  
まわりのひとから  
しんようをなくすよ。

まりもわて  
かなうずいつか  
じぶんに  
かえてくるよ。

わろぐちを  
いいて、いるときの  
じぶんのがおは  
すごくぶやかく  
だよ。

わろぐちを  
いって いるじぶんが  
か、二わろいと  
いちばんわかゝて  
いふのはじぶん。  
じしんがもてなく  
なるよ。

あの二がきらいで  
わるぐちをいっても  
わるぐちをいふとき  
あの二のことを  
かんがえているよ。  
だがらず、とす、  
いやなきもち…

は、ギリ―、て  
じ、かんとエネル  
むだづかい。  
じかんとエネル  
じぶんのために  
つか、てね。